

～「JA長野開発機構だより」の創刊、発行について～

当開発機構は、本年 4 月 1 日、一般社団法人として新たに発足し、去る 6 月 27 日の第 31 回通常総会をもちまして、旧法人としての事業・決算が全て終了致しました。

地域農業・資源の開発と豊かな地域社会づくりに取り組む長野県 JA グループの研究開発機関として、装いも新たに、この 7 月より気持ちを一新し事業推進に努めてまいりますので、会員各位の皆様方の引き続きのご指導、ご協力のこと宜しくお願いいたします。

当機構における日々の取組や事業・運営内容につきまして、原則的に四半期ごとに会報を発行し、可能な範囲で会員の皆様方に情報公開いたしますのでよろしくお願いいたします。

【地域開発部】

■ 職員紹介

西澤 猛（地域開発部長）・西牧 研治（次長・統括研究員）・大熊 桂樹（首席研究員）
西井 賢悟（主任研究員）・清野 澄夫（客員研究員） 5 名

■ 事業紹介

○ 6 次産業化に伴う「長野県 6 次産業化サポートセンター」業務の開始

去る、平成 25 年 4 月 17 日付で平成 25 年度農山村 6 次産業化対策事業における「長野県 6 次産業化サポートセンター」として業務を開始しました。業務の契約期間は平成 25 年 10 月末日です。なお、6 次産業化総合化計画認定事業者数は、平成 25 年度 5 月末現在で累計 66 事業者となりました。（全国 2 位の認定者数）

< 長野県 6 次産業化サポートセンターからお知らせ >

当サポートセンター主催の「6 次産業化シンポジウム」が下記の通り開催されます。関心のある皆様は、ぜひご参加ください。

1. 日時 : 平成 25 年 7 月 26 日（金）13:30～17:00
2. 場所 : 松本市南松本 1-2-16 JA 松本ハイランド・グリーンパル
3. 内容 : 記念講演：～食べものをつくる仕事の価値～ 玉村豊男氏
パネルディスカッション：6 次産業化の取り組みと地域活性化

○ 「農協の組合員制度とガバナンスにかかる研究会」の調査研究成果について

平成 22 年より上記研究会に当機構もメンバーとして加わり、平成 25 年 3 月末を持って業務を完了、書籍『JA は誰のものか～多様化する時代の JA ガバナンス～』（家の光協会・平成 25 年 6 月）が刊行されました。（西井主任研究員が第 3 章・第 6 章を執筆）

なお、書籍については、当機構より会員各位に 1 冊送付してありますので、ぜひ一読ください。

【発行所：一般社団法人 家の光協会 定価：1,890 円（税込）】



○家の光協会「支店協同活動」調査研究・情報発信について

家の光協会では、支所・支店を拠点とする協同活動を活発に展開している全国のJAを調査しその結果を機関誌『JA教育文化』を通じて公表していますが、当機構も調査メンバーに加わり情報発信に努めております。
(担当：西井主任研究員) 本年度もこの調査研究事業は継続していきます。

※『JA教育文化』最新刊(2013年8月号)⇒



【人材銀行局】

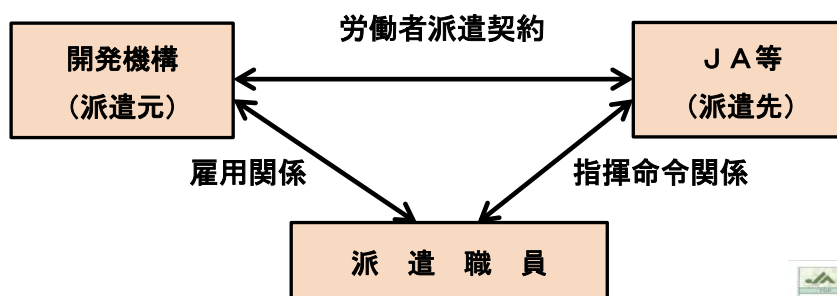
■ 職員紹介

岡澤 道雄 (人材銀行局長)・宮下 篤 (審議役・東北信地区担当)・米倉 逸生 (審議役・中信地区担当)・笠原 清宣 (審議役・南信地区担当)・星野 由紀・西村久美子 6名

■ 事業紹介

○人材の有効活用について

JA、農業関係団体及び地域農業における人材労働力の確保活用について支援を行い、その振興発展と就業希望者の就業機会の確保に寄与しております。事業形態は、労働者派遣事業、業務請負委託事業に分かれています。派遣・請負職員人数は、現在260名・50団体です。
(平成25年6月末現在)



○インターネットから登録・募集内容の閲覧ができます。

インターネットホームページイメージ図⇒



～編集後記～

この「JA長野開発機構だより」を通して、会員の皆様方に当機構のことを少しでも知っていただき、さらに、情報交換、意見交換、心の交流が育めるようになれば本懐と思っております。

これからは可能な限り、継続的に発行してゆく所存ですので、よろしくお願いいたします。(Y)

<発行所>

一般社団法人 長野県農協地域開発機構

長野市大字南長野北石堂 1177 番地 3 JA 長野県ビル 11 階

TEL 026 (236) 3500 (代表) / FAX 026 (236) 3505